

清潔・誠実・実行力

市議会議員

# 深山たかし

## 上尾に活力 地域力向上



### 議会レポート

#### 子育て支援について

これから、子育てを始めようとする皆さんが、何に不安を感じ、どんな助けを必要としているのかを考えた時、かつて子育てをしていた時のことを思い出しました。

共働きをしながらの子育ては、赤ちゃんの抱き方や、入浴のさせ方すら不安な状態で、隣に住んでいた「子育て中のお母さん」の存在がなんとも頼もしく思えました。「風邪をひいて鼻水が出た時は、鼻をかむより吸った方が早い」事や、「入浴はベビーバスで洗うより、親子で一緒に湯船に入って洗ってしまおう方が楽」と言うことも教えて頂き、周囲のサポートの重要性を

認識いたしました。

国や埼玉県でも、少子化問題がクローズアップされ、様々な施策や提言がまとめられておりますが、項目が多すぎて自分が必要とするサービスはどんなものがあるのかが分かりづらいものになっておりました。

上尾市でも、「次世代育成支援に関するニーズ調査」を行い、平成十七年三月に「次世代育成支援行動計画」を策定し、計画で掲げた基本理念に基づき、「子育てと仕事の両立がしやすい環境づくり」や「地域における子育て支援のネットワークづくり」など十五の基本施策を掲げるとともに、平成二十一年度までの五期間

に行うべき特に重要な施策として、「認可保育所の施設整備の充実」を始めとする十四の事業を掲げておりました。

今回の一般質問では、

①現在上尾市の「子育て支援策」にはどのようなものがあるのか。また、それら制度の利用状況（対象者数と利用者）

②「次世代育成支援行動計画書」の重点施策とは

③「いつ」「だれが」「どのように」行うのか具体的な作業手順と今までの実績

④この「行動計画書」の今後の公表方法と評価、検証について

⑤上尾市では「少子化対策」として今どのようなことに取り組んでいるか、また実効性のある将来計画とは何かの五項目について尋ねました。

しかしながら、施策の身の多くが、「箱もの」と言われる施設の建設や拡充に力点がおかれ、私が考えている子育て家庭への心理的なケアや相談事業と言っ

た施策は項目には掲載されているものの、具体的なアプローチがありませんでした。

「近所の集会スペースで顔なじみの経験者から気軽にアドバイスを受けられ、地域住民が、無理なく・楽しく・自由に集い、相談や情報交換、趣味の活動等を通して子育てを楽しみ、仲間づくりを行うことのできる「しくみ」を作ること重要です。

「子育ては大変だけど楽しい」と思える上尾市独自の施策を考えて頂きたいものです。



10月7日開館の西側児童館 こどもの城

# 図書館行政について

人口二十二万人の上尾市の図書館本館は、他の自治体の図書館と比べ、老朽化が進み極めて狭く、図書館としての機能を充分に果たしていないと考えておりましたので、今回次の項目について質問を行いました。

①分類別蔵書数と利用状況について

②上尾市の考える図書館像とは

③図書館整備計画について

上尾市全体の蔵書数



広々とした川口市立中央図書館の書架

は約五十万冊あるそうです。そのうち、本館所蔵は約三十万冊あります。しかしながら、閲覧者が手にとる事の出来る「開架書」は十三万冊、十七万冊が「閉架」と言って地下の倉庫にしまっている状態だそうです。

一般書の分類別蔵書数の比較は、本館、分館ともに、小説などの九分類が圧倒的に多く、それぞれ五十%前後を占めています。

その他では、政治、経済、教育などの三分類、衣



川口市立中央図書館学習スペース

服、食品、住居などの五分、歴史、旅行ガイドなどの二分が十%前後の割合で、本館、分館とも、若干の違いはあるものの、概ね、同じような資料構成です。

また、レファレンス（調べもの）・スペースは、机を五卓、椅子で二十脚ありますが、学習スペースは、全くありません。

さらに、図書館司書の資格を持つ常勤職員はたったの二名に過ぎないそうです。質問で一番「だわりをもった点」は「上尾市の考える図書館像とは」と言うことでした。私の納得出来る回答は「いたしませんでした。少なくとも基本的でもっとも重要な部分であるはずなのですが、残念でなりません。将来の整備計画では「上尾市総合計画」は、現在の図書館本館が手狭であり、かつ、老朽化していることから、二館目の図書館の建設がうたわれ、あわせて、公共図書館網の整備を図るとされております。

これらの実現のための検討は、まだ、緒についてはありますが、今後は、国の提言等を踏まえ、図書館として求められる新たな課題、視点などを加えて、早急に、上尾市としての図書館のあり方を検討する必要があるものと認識しているところでございますので、「ご理解をお願い申し上げます。」と回答がありました。

現状は理解しているものの他人事で、構想や、理念が説明出来ていません。情けない事ですがこれが現実です。図書館に限らず上尾市の全体に言えることではないでしょうか。



狭隘化の進む 上尾図書館本館

## 編集後記

市の人口が急激に増加した昭和四十年〜五十年代に建設された公共施設（学校施設を含む）の多くが、老朽化が激しく、一日も早い修繕を必要としております。それには莫大な費用が必要となり、今後綿密な修繕計画を立てなければなりません。財源が厳しい時は、新たな施設建設よりも、今ある施設をこまめにメンテナンスし、丁寧に使用する工夫をすべきではないでしょうか。

市民生活に密接に関わる経費を確保することが重要です。

発行元：深山たかし後援会  
 発行責任者：深山孝  
 上尾市大字上1774-7  
 048(776)0575  
 fukayama-sov@jcom.home.ne.jp

ホームページは、検索サイト、「深山たかし」で閲覧できます。